

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[管理型](平成 31年 2月度)

対象期間:平成 31年 2月 1日 ~ 平成 31年 2月 28日

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の2ハイ、規12条の7の5七イ]

種類	数量(単位)
燃え殻	1,803.94 (トン/月)
汚泥	4,843.57 (トン/月)
廃プラスチック類	32.35 (トン/月)
金属くず	1.03 (トン/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	121.16 (トン/月)
鉱さい	919.96 (トン/月)
がれき類	500.41 (トン/月)
ばいじん	821.59 (トン/月)
13号廃棄物	166.23 (トン/月)
混合廃棄物	1,096.79 (トン/月)
その他(混合廃棄物)	43.00 (m3/月)
その他(燃え殻)	3.00 (m3/月)
その他(汚泥)	6.00 (m3/月)
その他(ガラス陶磁器屑)	14.00 (m3/月)
その他(廃プラスチック類)	10.00 (m3/月)
その他(煤塵)	(m3/月)
その他(がれき類)	(m3/月)
特定有害廃石綿等	156.60 (m3/月)
廃プラスチック類(石綿含有)	3.00 (m3/月)
ガラス陶磁器屑(石綿含有)	14.00 (m3/月)
がれき類(石綿含有)	102.00 (m3/月)

水質検査の実施状況と措置(年1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びビ]

	地下水等		放流水
	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取日	平成30年9月19日	平成30年9月19日	平成30年9月19日
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
検査結果が得られた日	平成30年10月19日	平成30年10月19日	平成30年10月19日
検査項目	ダイオキシン	ダイオキシン	ダイオキシン
検査結果	0.13 (pg-TEQ/l)	0.10 (pg-TEQ/l)	0.0088 (pg-TEQ/l)
異状の有無	有 - 無	有 - 無	
必要な措置を講じた年月日とその内容	/		

水質検査の実施状況と措置(月1回)[規12条の7の2ハニ及びホ、規12条の7の5七ニ及びビ]

	地下水等		放流水
	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取場所	観測井戸 No.1	観測井戸 No.2	観測地点参照
採取日	2月1日	2月1日	2月1日
検査結果が得られた日	2月18日	2月18日	2月18日
電気伝導率	11.2 (25°C mS/m)	15.90 (25°C mS/m)	
塩化物イオン濃度	14 (mg/l)	1.70 (mg/l)	
水素イオン濃度			8 (20.8°C)
生物学的酸素要求量			3.8 (mg/l)
化学的酸素要求量			14 (mg/l)
浮遊物質			<1 (mg/l)
窒素含有量			2.7 (mg/l)
異状の有無	無	無	
必要な措置を講じた日付とその内容	/		

施設の点検[規12条の7の2ハロ、ハ、ヘ、ト及びチ、規12条の7の5七ロ、ハ、ヘ、ト及びチ]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理施設
	点検日	平成31年2月28日	平成31年2月28日	平成31年2月28日
異状の有無	無	無	無	無
必要な措置を講じた年月日とその内容	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
必要な措置を講じた年月日とその内容	/			

※「防凍のための措置」:当該処分場の導水管等は、凍結損壊のおそれのある部分はありません。

残余容量

測定年月日	平成30年 3月31日
測定結果	297,549m3